

# 農業者年

## 県農業会議

県内の農業委員やJAなどに配布された農業者年金の資料



と提案している。資料を希望する場合は問い合わせなどは、長野県農業会議(☎0266・2334・6871)まで。

### 加入対象別に特典明示 農業委員ら1500人に配布

長野県農業会議とJA長野中央会はこのほど、農業者年金のメリットを漫画で伝える冊子を作り、県内の農業委員など約1500人に配布した。

冊子はA4判12ページで「50代の方へ」「女性農業者の方へ」「若い農業者の方へ」の3つの加入対象を設定。それぞれの対象に、どんなメリットがあるのかや、年金をすすめる際のアピールポイントを示している。これは、普及にあたる農業委員のほか、農業委員会やJAの職員、農業者にもやさしく制度を知ってもらおうと初めて制作したもので、「50代の方へ」では、こ

### 町と大学一体で地域再生へ

#### 東京農大の「山村再生プロジェクト」



東京農大支援協議会の立ち上げ調印式で握手を交わす羽田健一郎長和町長(左)と大澤貴寿東京農大学長(2008年11月)

### 長和町 催しなど共同で企画・運営

東京農大の国際食料情報学部食料環境経済学科は、地域活性化や学生の人材育成などを目的に2008年11月から、長和町で「質の高い大学教育(教育GP)」を進めてきたが、このほど、その更なる躍進を目指し、新たに「山村再生プロジェクト」をスタートさせた。

教育GPではこれまで、遊休農地の再生による「ゼロからのものづくり」や「立岩和紙」の原料になるコウゾを生産・製造した伝

原料にして商品を開発し、発売している。これまでに地ビール、杵つき餅、うどん、そうめん、ほうとう、焼酎などが発



住 船 番 号

### 北アル 春の味

松



大北地域の品を販売するこれらの特産品を提供し、大食をPRするアルプス山麓展」がJR松

### 佐久間剛志さん

千曲市

24

# 石く

佐久間さんは非農家の出身で、文字通りゼロから現在の経営を作り上げた。高校卒業後、県農業大学校野菜花き実科・研究科で2年間、野菜栽培の基礎を学び、卒業後、(株)エスエスエス(株)エスエスエス



「規模拡大し、雇用の拡大も」と語る佐久間さん

### 人化も視野に

野菜は主な品目をすべて作っている。苗は、主にプラグ苗を購入してポットで栽培したものを販売。ハウスは年間4回転で、花苗50万ポット、野菜苗8万ポットを生産・出荷している。

### 遊休農地再生

秋には油に

